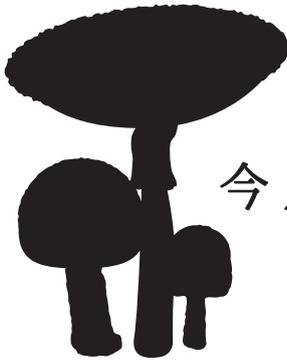


 いわみざわ公園バラ園 [www.iwamizawa-park.com](http://www.iwamizawa-park.com)

### 恐ろしい穿孔害虫

穿孔（せんこう）害虫とは、幹に穴をあけて卵を産み、その幼虫が中を食い荒らす害虫を指します。たとえば昔から知られているコスカシバの幼虫はサクラに被害を与えます。幹から粘りのある樹液が出ているときはこれを疑います。その部分の樹皮をはがし、穴に細い針金などを奥まで入れて刺し殺すか、濃いめの殺虫剤を吸い込ませた脱脂綿などで穴を塞いで殺します。昨今、温暖化で道内でも越冬するようになったゴマダラカミキリは、地表近くに産みつけ、幹の細いバラは1年で枯らします。幹の太いカエデ類、サクラ類、シラカバには、成虫になって舞い戻り、卵を産みつけるので、数年後に枯らす恐ろしい害虫です。根元周りには他の植物を植えないことが肝要で、成虫は捕殺し、幼虫は浸透移行性の殺虫剤を使います。（かわはら）



### 今月の便り

#### 紫陽花の魅力について

紫陽花の仲間は種類が多く混乱しがちになりますが、この時期庭の中で純白の雪洞のような花をつけているアナベルと言う扱いやすい種類が目立ちます。大きく分けると紫陽花は、日本種と外国種になり種類によっては長く楽しめます。小型から大型種類、新枝咲きから旧枝咲きとタイプ別に育て方も異なり、お庭での楽しみ方のバリエーションも広がります。開花鉢は購入後直ぐに根鉢を崩さず植え替えましょう。基本的には日向が好きなので、真夏の水切れに注意して、花柄切りは花色があせてきたら上から1節目で切ります。葉を多く残す事でその後の生育を促進して伸びてきた枝の先に来年又綺麗な花を見る事ができます。肥料は花後と春先の2回、花色にこだわるなら紫陽花専用の肥料を施すと良いでしょう。（たかはし）

#### 家庭菜園の収穫は如何でしょうか。

秋の代表的な果物と言われているリンゴや冬の代表的なミカン、皆よく口にしていると思いますが「リンゴ」や「ミカン」等の果物に、上(頭)下(尻)があるのをご存知でしょうか。テーブルの上に置くとき、普通は柄(ヘタ)のついているほうを上にして置きます。座りの良い(安定性)置き方も重要ですが、果物の上下はどのようにして判断するか果実のつくりから記してみますと、一般に果実は、子房やその周辺の部分が、膨れて果実になるわけですから、柄がある側と反対側に花を咲かせることとなります。普通花が咲く方向が上側(頭)、枝につく柄が下側(尻)となります。リンゴの花は、上から雌蕊雄蕊を含めた花弁、萼片、果実、柄の順に枝につきます。リンゴの尻部分を見ると、ギザギザしたものがありますが、これは萼片の痕跡です。ミカンの花は、上から雌蕊雄蕊を含めた花弁、果実、萼片、柄の順に枝につきます。ミカンの柄の部分には、5枚の緑色をした萼片が残っています。普段私たちはリンゴやミカン、尻の部分を上に向けていることとなります。他の果物の場合はどうなっているか、調べて見てはいかがでしょうか。（ながやす）

## ワラジ虫の仕事

「ワラジ虫が植木鉢の中にいっぱいいるが、どうしたらいいだろう？」という相談がありました。確かに鉢の中に入られては人間は都合が悪いので、困っている人は入らないように鉢底にネットを敷いたら良いかもしれませんが。ワラジ虫は枯れ草を食べては糞をすることで分解して土に還す働きの一部です。植木鉢の中の土に前に植えた植物のちぎれた根っこや、中途半端な腐葉土が多いとワラジ虫はそこで働き始めてしまいます。新しい土に入れ替えるのが良いでしょう。鉢の中の古い土は、コンポストに入れたい、なるべく小さくきった草などと一緒に堆肥に積んでおくと、しばらくするとワラジ虫やミミズなど様々な生き物がふかふかの土を作ってくれます。環境を変えると虫は自ら移動するので、薬を使うことを考える前に住み分けの工夫をしてみてください。(きのした)

## エゾヒナノウスツボ

数年前になります。道東を旅行した時に野付半島のトドワラを見に行きました。遊歩道を進み幻想的な風景とシバナ(塩場菜)などのめずらしい植物を見て歩きました。特に印象に残った花がエゾヒナノウスツボです。ゴマノハグサ科の植物で高さ 50cm から 1.5m になる大型の多年草です。花は 1センチほどで茎の先に円錐形の花序を付け淡黄緑色から上のほうはやや紫褐色のコロンとしたつぼ型の花をまばらにつけます。そのつぼ型の花は横向きに口を開け下唇からふたつのおしべがちょこんと顔をのぞかせるのです。ふたつ並んだおしべの様子を雛に見立てて「雛の白壺」という名前が付いたそうです。とてもかわいい名前ですがポカンと口をあけた花がたくさん咲いている様子は見ていてとても楽しくなりました。海岸の砂礫地などに生える植物で北海道から本州中部まで分布します。同じ仲間でおオヒナノウスツボは山地に生えこちらは後志以南から九州まで分布します。(いとう)



## バラ園・色彩館

### 秋バラ、百聞不如一見。& キンモクセイ

9月下旬ころから10月中旬ごろまで、秋バラが楽しめます。昼夜の温度差でじっくりと生長し、香り・色・質感がまるで熟成されたかのような、一輪一輪が美しいバラが楽しめます。室内公園 色彩館では、9月中下旬ごろから9月いっぱいぐらいまで、キンモクセイが咲きます。花期が短いのでお早めに。開花が始まったばかりのころに見に行くのが、いい香りを楽しむポイントです。



## 今月の開花情報

### ジャガイモの収穫タイミングは...

ジャガイモは発芽してから 90 日位から収穫時期に入りますが、その年の天候によってかなり左右されます。確実な収穫のタイミングは葉や茎が枯れたら収穫するのが望ましいです。葉や茎が青いうちに収穫しても食べるのには支障はありませんが、ホロホロのイモでなく、ネっとりとした感じのイモとなり、水分が多いため長期保存がきかないイモとなります。また、葉・茎が枯れてからもイモは成長を続けますが、有毒質のソラニン(毒)が発生したり、野ネズミの被害にあいますので要注意です。



# ひとつき ひとバラ



文：田中 伸枝  
(いわみざわ公園バラ園)



## 第七十五回

フロリバンダローズ

ハニー ブーケ

Honey Bouquet

作出国：アメリカ

作出者：Zary

作出年：1999 年以前

ハーディネスゾーン：Z6

繰り返し咲き性

交配：AROfres(FI) × Amber Queen(FI)

黄色にほんのりアプリコットがかった大輪が房になって咲きます。美味しそうな甘い香りは、ほのかに波打つ花弁を伝いながら香ってくるよう。上品な華やかさを持ち、可愛らしい卵型のつぼみは特徴的で、花が開きすぎた後もだらしない感じにはなりません。ややツヤのあるダークグリーンの葉は革のような高級感があり、美人さんを一層上品に引き立てます。人間もバラも、美人とはこういうものなのか～！と感心してしまいます。ハニーブーケは当園のバラのなかでもいつ見ても美形なバラのひとつだと思っています。非常にフォトジェニックです。高さは 100 cm 程度で割とコンパクトで横張りになります。房咲きですが中輪や小輪のフロリバンダの品種よりは、ひと房あたりの輪数は少ないです。当園では、山からの風が当たりやすい場所に植栽しているため、植栽の配置の都合上か元々そんなに強くないのかわかりませんが、毎年凍害を受けているイメージがあります。寒さに強い！と太鼓判は押せませんが、しっかりと冬囲いをして守ってあげれば、ご家庭のお庭では問題ないかと思います。

どうすれば、こんな素敵な大輪のフロリバンダができるのでしょうか？交配は、パテントのない育種用のストック苗で黄色の

‘AROfres’ と小型ですが大輪で黄色の ‘Amber Queen’ です。フロリバンダ系統同士の組み合わせ。どこかに絶対ハイブリッドティー（大輪）の血が入っているはず…さらに ‘Amber Queen’ の交配を調べてみるとフロリバンダとハイブリッドティーの交配でした。同じ交配で ‘Honey Perfume’ という品種があります。色味や花形は若干違うもののハニーブーケと雰囲気がとても似ています。こちらの品種は 2004 年に AARS 賞を受賞しています。まさに同じ親から生まれた『美人姉妹』です。ちなみにハニーブーケのほうがあとからできたので妹さんですね。作出は、アメリカジャクソン&パーキンス (J&P) 社の四代目にあたる育種家 Keith W. Zary 博士です。同氏の作出で、当園で見られるのは、赤が映える ‘Opening Night’、紫がかったピンクで細かいフリルになる ‘Cotillion’、グラデーションの覆輪が美しい ‘Gemini’ など、9 品種ほどを見ることができます。どれも色合い・巻き・花弁の質感が素晴らしいバラばかりで、美的感覚には目を見張るものがあります。

厳しい冬が訪れる前のお楽しみ、秋バラを是非ご堪能ください。北海道の秋バラの見ごろは 9 月下旬～ 10 月中旬です。

## 今月の市民園芸講座のご案内



- 9月13日(日) 13:00~15:00 ミニ盆栽を仕立てよう  
料金:2,000円 定員:18名 講師:君島 信博さん 草つ月
- 9月19日(土)・10月4日(日) 13:00~15:00  
バラ管理スタッフのローズツアー  
料金:無料 定員:18名 講師:バラ園スタッフ
- 9月22日(祝火) 13:00~15:00 楽しいキノコの見分け方  
料金:無料 定員:18名 講師:伊達 佐重さん 北海道自然保護協会
- 9月26日(土) 10:00~12:00 ばらゼミ⑦ 植床作り  
料金:無料 定員:18名 講師:工藤 敏博さん ローズグローワー
- 9月27日(日) 13:00~15:00 バラ園のバラを使ったアレンジメント  
料金:1,000円 定員:18名  
講師:大和田 由紀子さん カンガルーファクトリー

※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。  
電話:0126-25-6111  
ホームページ:<http://www.iwamizawa-park.com/>

新型コロナウイルス感染防止策として、以下の点についてご了承ください。

- × マスクの着用がない方
- × 37.0℃以上の熱がある方

上記に該当する方は受講をご遠慮いただいております。

- ・事前申し込み無しに当日に飛び入り参加される方は、定員制限などの関係から受講をお断りさせていただく場合がございます。
- ・密集を避けるため、各講座の定員につきましては、予告なく変更する場合がございます。
- ・換気の為、2方向の窓・扉を開放いたします。暖かい格好でお越しください。
- ・密接を避けるため、講座中の私語は謹んでいただきますようお願いいたします。